

# アラウンド・ザ・ワールド 2

## Around the World

第121回

### 暗号の解読

アラウンド・ザ・ワールドPart2の121回目は、引受査定におけるAIの活用を取り上げる。英国の現状や課題が示唆すること。 (RGA再保険会社提供)



エバンス氏



金丸氏

英国の保障性商品の市場では、引受査定の効率化、特に査定におけるAIの活用がますます重視されている。何十ページにも及ぶ診断書のサマリ作成や成約後に行うサンプルチェックの層別化がその活用例だ。効率アップを模索する中、保険会社は導入における課題に直面し、ソリューションを内製化するか、第三者に委託するかのジレンマに陥りやすい。

**実行における課題**

保険業界のベテランなら誰でも、「インベシヨンは簡単」だが、たとえAIを活用しても「統合が難しい」と証言するだろう。実際、その通りのことも多い。第三者のソリューション・プロバイダーと協働し、データ

や、継続的な監査計画も講じられていることが分かるだろう。

AI技術を新契約申込プロセスの本番環境に導入するには慎重に計画する必要がある。一つの方法は、保障金額の低い生命保険契約等、初期的には複雑性が低い商品を中心にして、新人のアンダライターに対する指示方法をそっくりそのまま取り入れるアプローチだ。その後、時間の経過につれ保障金額や複雑性を高めていく。このアプローチでは、保険会社

### 英国の引受査定におけるAI活用方法の評価

は、人間を介せずAIが処理する申込の保障金額上限の設定を検討できる。

#### 富裕層に関する留意点

保険・再保険会社がAI作成のサマリを信頼して活用できるようになるまでには、あり得るとしてもまだ時間がかかるだろう。情報の一部が欠

#### 実行の加速化と内製化の利点

▽第三者が提供する社外ソリューション

AIの引受査定ソリューションは英国ではまだ日常業務の一部をなすレベルには至っていないという独自の課題が存在する。それゆえ、富裕層のリスク評価の場合、学習済みのAIモデルをデジタル化された診断書に用いることで得られる効果や効率の向上は減少してしまう。富裕層の申込は医的査定だけでなく、

よる広範なテストのプロセスにより、効率アップの実現が遅くなる。

社外ソリューションに

対する留意点として、英国一般データ保護規制(UK GDPR)や英国データ保護機関ICOのガイドラインの順守のため、国境を越えたデータ転送への対応を考慮すべきだ。英国をベースにしたクラウドで提供するソリューションもあり得るが、手作業の品質保証は依然として海外で実行される場合がある。

アップデートに影響を及ぼし、第三者機関に関するリスクにより、複数の保険会社が同じソリューションを使用する場合、競合他社との差別化の範囲が狭まる。最後に、再保険に連動した再保険会社が提供するソリューションを実施する場合、取引相手決定前の入札交渉の間から将来の柔軟性を制限しない取引になるよう考慮することが重要だ。

#### 「専門特化型」対「既製品」

保険会社は、社内のデータサイエンスのリソースを用いてオーダーメイドのソリューションを独自に開発したり、社外のテクノロジーやAIの専門家の協力を得て構築したりすることもある。この統合はより容易になる。このアプローチは、知的所有権の保護、ソリューションの差別化、次に定型化が進む環境で商業上の優位性を獲得することにつながり得る。

さらに、データセキュリティの基準や法規制環境が異なる可能性のある他地域への機微情報の社外移転に伴うリスクを低減する。米国のソリューションは英国のクラウドサービスで提供されても、品質保証の一部は依然として英国外で行われる可能性がある。

しかし、ソリューションの開発を内製化すること、リソースの課題がある。保険会社の大半はデータサイエンスリストを配備しているが、通常、引受査定だけでなく広範な業務分野に対応しているため、大規模プロジェクトに十分な時間をかけることが難しい。その結果、小規模な保険会社では内製化の開発時間は長期化し、実行が遅延する傾向がある。リソースが豊富な大規模な保険会社には魅力的な方法かもしれない。

英国では過去10年間に

おいて、デジタル化した診断書の導入の遅れと本格展開との対比でしばしば論じられてきたが、AIソリューションを用いたシナリオは、市場のプレッシャーやグローバルな需要により、これまでとは異なるだろう。AIの採用は、英国では次の5年間でごく一般的になりそうだ。

これは全体像のうちのごく一部に過ぎない。AIの全ての能力を活用する真のチャンスは、健康情報にアクセスする代替手段が活用可能になった時に訪れるだろう。販売時点で医療記録に直接アクセスし、リアルタイムで評価することが依然として究極的な目標であり、今後の業界変革の触媒であり続けるだろう。

◇

【エバンス氏のプロフィール】2008年RGA入社。英国・アイルランドで引受査定者のチームを率いる。引受査定におけるAIの活用を含め、業務効率の向上に関する豊かな知見を有する。

執筆者

RGA  
英国およびアイルランド保障性商品担当  
チーフアンダーライター

マイク・エバンス

日本語訳

RGAリインシュアランスカンパニー日本支店 通訳

山本あゆみ

日本語監修

RGAリインシュアランスカンパニー日本支店  
ディレクター ビジネス・ディベロップメント部

金丸大二郎